



あい 愛 逢

特定非営利活動法人 愛逢
尼崎市小中島1丁目5-10
TEL : 06-6493-1424
FAX : 06-6493-1443
発行責任者：橋平 浩子
発行日：2021年7月1日

NPO 法人愛逢 第18回通常総会 成立報告



新型コロナウイルスの影響により、今年度も書面表決によるみなし総会となりましたが、正会員のみなさまのご協力により、2021年6月14日の開票をもって無事に成立致しましたことを、ご報告させていただきます。

※活動の方向性は3面に掲載しています

また、表決票でたくさんのコメントもいただきました！！

ありがとうございました。

(事務局長 山下直子)

- ◆ コロナ禍にあっても法人の目指すべき理念の実践により、地域になくてもはならない活動組織体として存在感は益々増しています。役員・スタッフの皆さんに感謝。
- ◆ 私のような身寄りもない一人物が皆さんに支えられて楽しい毎日の生活ができていることに感謝しています。これからもよろしくお願いします。
- ◆ 何事も失敗を怖がらず進んで、間違いに気づいたら修正するように、よろしく。
- ◆ いつも着実な活動を展開されている皆様に応援しています。
- ◆ コロナ禍で高齢者のフレイル、孤立感が進行しています。今後の愛逢の活動に期待します。

新理事長ご挨拶

コロナ禍で活動に制限がある中、皆様いつもありがとうございます。前理事長海士さんお疲れさまでした。感謝申し上げます。新年度より、第4代理事長に選んでいただいた橋平浩子です。愛逢に関わり20数年、ボランティアという言葉が大きく注目を浴びた頃から活動を始め、自分が出ることができると動いて来ましたが、世の中が目まぐるしく変わっていく中で、自分が動くだけではと、色々な人に関わってもらい、一緒に活動することが大切であると思うようになりました。

愛逢も大きく変わる時がきていると思います。いつまでも今の地域で最後まで居られることが、愛逢の目的であるのは変わりません。みなさまの声をよく聞き、より良く判断して活動を続けていきたいと思っています。私を見かけたら「ちょっと」とお声をかけて下さい。いつまでも動ける愛逢でいたいと思います。よろしくお願いします。(理事長 橋平浩子)



新理事ご挨拶

愛逢で働き始めて10年が過ぎ、地域の中での助け合い精神を日々実感しています。この度、理事を拝命し、コロナであってもなくても変わらない“愛逢らしさ”が発揮できる環境づくりに、新たな立場でも励みたいと思います。地域とともに・・・これからも何卒よろしくお願いします。(理事 西山裕規)

訪問介護の管理者となつて、約3年。この度、理事に就任させていただくことになり、現場管理者としてスタッフ・利用者の声に耳を傾け、理事として役員・スタッフが一丸となって愛逢を盛り上げていけるよう、より一層がんばりたいと思います。(理事 高橋めぐむ)

愛逢スタッフ リレー紹介 その2

愛逢では、主軸としている3本柱の事業運営に、40人を越えるスタッフが関わってくれています。みんなの元気で、地域も元気にしていきたいと、活動しています。

そのスタッフの一言メッセージリレー第2回目です。

平成16年に夫を亡くし沈んでいた私は、友人の紹介で、ボランティアでお年寄りの食事作りに参加させていただき、仲間の皆様とワイワイ楽しくおしゃべりしながらの食事作りの日々に、私の心もいつしか明るさを取り戻し楽しく元気になっていきました。そんなボランティアも今では17年になりました。これからも、利用者の方々に喜んでいただける様にがんばって行きたいと思いますのでよろしくお願いします。

(配食サービス 中島眞由美)



こんにちは。コメントを担当するのが初めてで緊張しています。まだ、仕事を始めて約5カ月ぐらいで、始めた頃は新型コロナの影響で仕事も利用者さんとコミュニケーションを中々とることができなく大変でしたが、少しずつ慣れてきて今では、楽しくできていると思っています(^_^)仕事以外では、初任者研修の資格を取るため今頑張っています！！これからも色々な事に取り組んでいきたいと思います。

(愛逢の家・訪問介護 高松恵里)



初めまして。ご縁があり、愛逢で勤めることになってまだ一ヶ月。それまでは病院で看護助手として働いていました。病院では出来なかったケアをしたり、コミュニケーションをとったり、色々なところで携わっていただけらなと思っています。

これからよろしく
お願いします。

(愛逢の家 杉本優美)



あっ！！という間に10年くらい愛逢にいます。全く、介護に程遠い仕事ばかりしていましたが、これまでスタッフのみなさんに助けられながら何とかやってこれました。頼りない管理者ですが、頼りになる管理者目指してがんばりマッスル！！

(訪問介護・障害者総合支援
管理者 高橋めぐむ)



毎日新型コロナのニュースばかりで以前の生活に戻るのはまだまだですネ。愛逢のヘルパーとして活動させていただき早12年半。時には失敗も多々あり体力的にも無理かなとの思いも、1日寝れば忘れ、また頑張っている毎日です。家庭では子供達も独立し、46年連れ添った主人と年金生活をしております。体が元気な間は少しでも長く頑張っ愛逢で働きますのでよろしくお願い致します。

(訪問介護 森京子)



2021年度 愛逢が目指すこと

・・・第5期中期ビジョンに則って

今年度の活動計画を提言します・・・



■■■総括

- ・内部研修の成果を可視化し、実用化していきます。
- ・各種専門委員会の設置を進めます。
- ・部門間を越えて協力できる体制づくりを進めます。
- ・新しい資格取得に向けたバックアップを整備しスタッフのスキルアップを促進します。
- ・地域に開かれた事務所を目指し、多様な機能を持った法人体制を作ります。

【配食サービス】

- ・これまで実施してきた安否確認活動の更なる充実に努めます。
- ・利用者それぞれに合わせ、できる限りの細やかな対応を実現させ、「愛逢の配食サービスにしかできない」を充実させます。

【助け合い】

- ・ニーズへの的確な対応を充実させるため、地域の最新のニーズの把握に努めます。

【訪問介護・障害者総合支援】

- ・感染症対策を取り入れた身体介護や虐待防止など、明確な研修計画を立て、スタッフのスキルアップをサポートします。
- ・各種事業と多様な活動で連携を深め、利用者の課題解決に努めます。

【居宅介護支援】

- ・愛逢らしさを引き継ぐ人材の確保により、事業の再開を目指します。

【愛逢の家】

- ・住人同士のつながりや家族、スタッフ、地域とのつながりを大切に、“とも暮らし”の支援を継続します。
- ・知識の向上と多職種との連携による住人のケアの充実に努めます。
- ・勤務体制や業務分担を見直し、子育て世代などの多様なスタッフが働きやすい職場づくりを進めます。

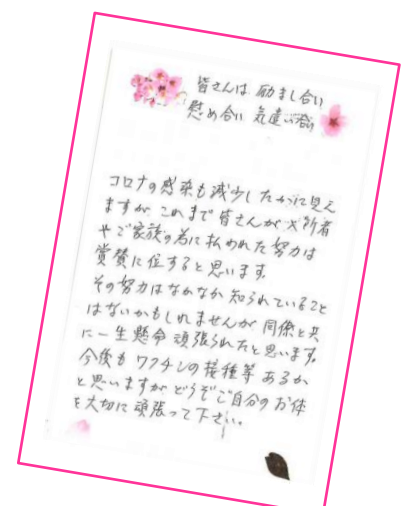
【地域ネットワークと地域づくり】

- ・地域グループと協働し、地域の活性化の一役を担えるよう努めます。
- ・相談支援の充実化、ふれあいセンターの活用、楽しみと困りごとの継続と解決に向けて、コミュニティと生きがい支援に着手します。

♡突然届いた応援メッセージ

4月上旬、愛逢の事務所に1枚のはがきが届きました。内容は、コロナ禍でも奮闘するスタッフにあてられた手書きの応援メッセージでした。

「誰かがどこかで見守り、応援してくれている」
様々な感染対策を最大限に実施しながらでも、日々の不安な気持ちは拭えないものです。そんな中でも、みなさまに見守られていること、応援してもらっていることは本当に 私たちのパワーの源になっています。



シリーズ 知っていますか？ 町のスポット



【ご報告】

前号の注意スポット「小中島バス停付近の歩道」でお気づきの方もいらっしゃると思いますが、尼崎市道路維持課の方の迅速な対応により、4月下旬には整備が完了していました。（さすがにもうちょっと時間がかかるだろうと 思っていたのでびっくり！！）ふと通りかかると、スムーズに押し車を押して歩く地域の方をお見かけしました。
まずはひと安心（^^）/



■第2回 地域の気になる歴史スポット 円融寺



善法寺にある浄土真宗本願寺派のお寺です。季節の花がいつでも咲いています。門などには、坊守さん手作りのポスターがあちこちに貼ってあります。月1回、Oデザイン（マルデザイン）という教室も開かれています。こころ落ち着かせる場所へ一度お参りに行ってみてください。



門の掲示には、阿弥陀様と「安穩」（心静かに落ち着いていること）と書かれています。

気になる町の「注意スポット」「歴史スポット」「自慢スポット」などあれば、愛逢事務所まで、ご一報ください！

☎ 06-6493-1424



あなたのお家のカレンダーは？

2020年、オリンピックの開催に伴い、国民の休日が変更されました。その後、2021年に順延となったため、カレンダー業界は大混乱！作成された時期で休日が異なったカレンダーやスケジュール帳などが、販売されています。
◎今一度、以下の休日を確認してくださいね。

海の日	7月22日（木）
スポーツの日	7月23日（金）
山の日	8月8日（日）
振替休日	8月9日（月）



たいむ ほっと待夢



認知症は予防できる？

愛逢ともご縁のある上野千鶴子さんが最近気にいらぬ言葉がある、それは「認知症予防」だと話されていた。「予防」とつくとも認知症になった時に、なぜあなたは予防をしなかったのかと責められる理不尽さも出てくる。確かに巷には、認知症予防をうたったドリルや、サプリメント、体操などが高齢者を誘っている。誰しもが認知症になる可能性はあるわけで、予防できるものではない。受け入れる社会、支える仕組みづくりに力を入れるべきだと。まさにその通り！

（海）